

農林水産業の担い手確保について

【担当省庁】農林水産省

京都府では、産業として持続可能な農林漁業を支える「人づくり・組織づくり」を進めており、新たな担い手の確保と育成が不可欠です。このため、農林水産業の担い手確保・育成の取組の持続的実施、実地研修の円滑な実施、地域への確実な定着支援などについて、以下のとおり要望いたします。

支援事業にかかる予算措置及び要件緩和・対象拡大

- 農業部門について、就農希望者の研修中や就農直後における所得を確保し、地域の中核的な担い手として確実な定着を図るため、国において「青年就農給付金」事業を実施していただきたい。
- 林業部門について、林業大学校の学生が、生活面での不安を取り除き、森林・林業の技術・知識の習得に専念できるよう、国において「緑の新規就業総合支援事業」を実施していただくとともに、卒業後の就業要件として、川上から川下までの森林・林業関連事業体や、森林保全等に係わるNPOまでの幅広い就業先を対象としていただきたい。
- 漁業部門について、新規就業希望者の漁業現場での長期研修を継続できるよう、国において「新規漁業就業者総合支援」事業を実施していただきたい。

<農林水産省の概算要求>

◎新規就農・経営継承総合支援事業 243億円

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るための就農前後の青年就農者・経営継承者への給付金の給付、雇用就農を促進するための農業法人での実践研修等への支援、地域農業のリーダー人材の層を厚くする農業経営者教育の強化

◎森林・林業人材育成対策 91億円

林業への就業前の青年に対する給付金を創設するとともに、「緑の雇用」事業の拡充等により人材の育成を推進

◎新規漁業就業者総合支援 12億円

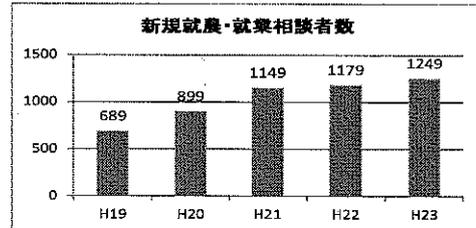
漁業への就業前の青年に対する給付金の給付や、就業・定着促進等のための長期研修等を支援

京都府の現状・課題等

◆ 農林水産業への就農・就業支援の現状について

(1) 農林水産業ジョブカフェによる就農・就業相談

- ・平成19年4月、京都ジョブパーク内に農林水産業への就農・就業や田舎暮らし等のワンストップ相談窓口を設置



(2) 担い手づくりサポートセンターによる技術研修の実施

- ・平成22年4月に担い手づくりサポートセンターを設置し、農業法人・森林組合・漁業会社等による雇用研修を実施

※研修修了者のうち2/3が農林漁業への就農・就業を実現(③101名のうち66名)

◆ 農林水産業への就農・就業の課題

- ・農林水産業従事者は年々減少しており、今後もこの状況が続くと生産力の低下も懸念されるため、若手就業者の確保・育成は重要課題
- ・就農・就業希望者が安心して定着できる環境の整備
- ・就業後の早期離職があることから、就業前の現場での研修が不可欠

◆ 給付金事業見込額（平成25年度）

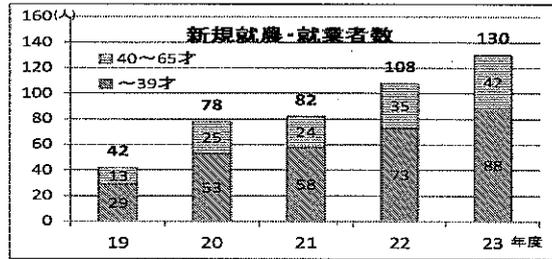
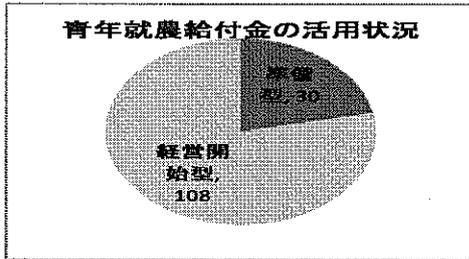
- ・農業：262,750千円（172人分）
- ・林業：67,650千円（41人分）

◆ 部門別の取組状況

(1) 農業部門における取組

- ・「京力農場プラン」（人・農地プラン）の作成に府が積極的に取り組む中で、新規就農者等地域の中核的な担い手の確保・育成や農地集積を強力に推進
- ・青年就農給付金を活用し研修中及び就農直後における安定的な所得を確保
- ・担い手養成実践農場等府独自制度により農地の確保から技術取得、地域への定着までの一貫した支援を実施

（資料：京都府調べ）



(2) 林業部門における取組

① 京都府立林業大学校の特色ある人材育成

【林業専攻】高性能林業機械操作技術から森づくりプランの作成などを習得

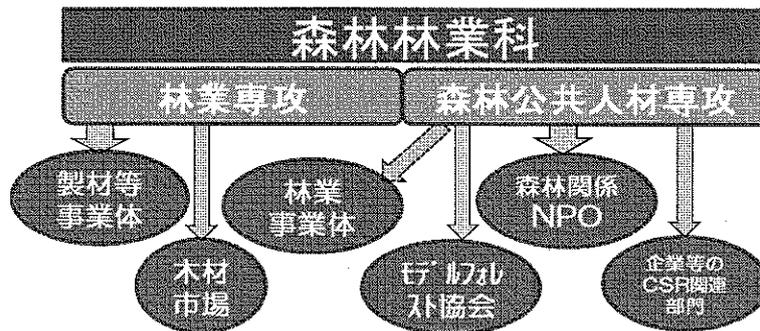
→ [京都府独自の高性能林業機械操作士資格の取得]

【森林公共人材専攻】森林保全活動から野生鳥獣害対策などの技術・知識を習得

→ [京都府独自の森林公共政策士資格の取得]

② 京都府立林業大学校森林林業科の想定される就業先

林業大学校では、森林・林業を担う幅広い人材育成を行っており、森林林業に関わる様々な分野への就職を想定



(3) 漁業部門における取組

- ・新規漁業就業者総合支援事業を活用し、就業希望者の漁業現場での長期研修を実施
- ・平成 21 年度以降、23 人に研修、うち 11 人が就業しており、事業効果は高く、基幹漁業である定置網や底びき網漁業の就業者確保には不可欠

【京都府の担当部局】

農林水産部 担い手支援課	075-414-4902
モデルフォレスト推進課	075-414-5006
水産課	075-414-4992